

「日々の理科」(第1916号) 2019, 10, -7

「赤べこの絵付け(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

昨日の配信後、八王子の友人からメールが来た。興味深い内容なので、掲載したい。

=====

会津の話、面白いですね。私も会津は何回か行きましたが、最後に行ったのがもう20年以上前ですので、今はどうなっているのやら。その頃は街中もちょっと寂れていましたが、最近は整備されて綺麗になったと聞いていますので、また訪れてみたいものです。

そういえば、今はなき急行「ぼんだい12号」という夜行急行で行ったこともありました。上野を23時過ぎに出る最後の夜行列車で、会津若松には6時頃に着いたと思います。初めて乗った夜行列車で、普通のクロスシート座席でしたので、興奮もあって全然寝られませんでした。そのまま喜多方に移動して、超ローカル線の日中線に乗ったのが良い思い出です。中学卒業の頃で、まだDE10が引っ張る旧型客車でした。

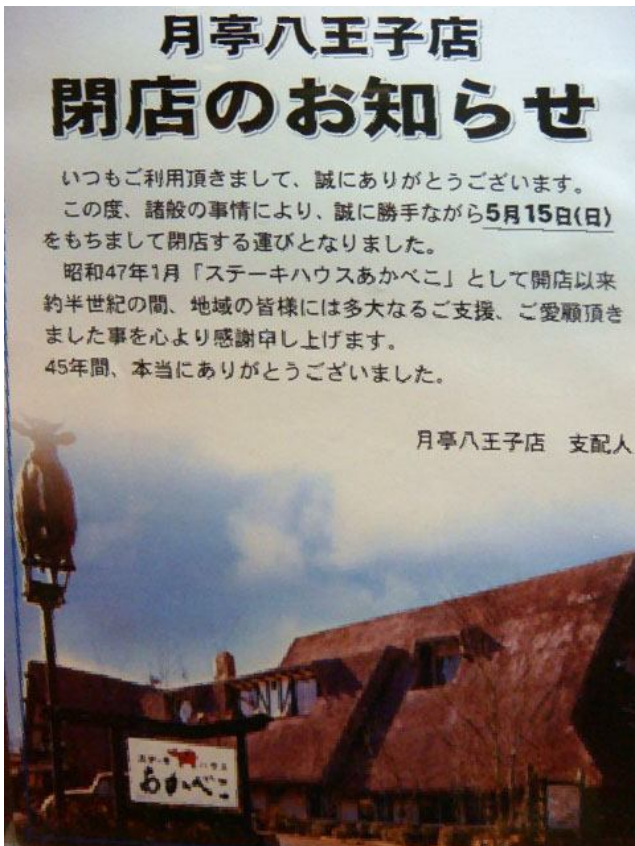
はあんまり記憶がありません……。ステーキが有名で、当時としては凝った外装のちょっと高級なお店でした。「あかべこ」は閉店して「月亭」というしゃぶしゃぶ・懐石のお店に変わり、ついにそこも数年前に閉店してしまいました。お店のあった辺りも随分と様変わりしてしまいましたので、昔からあるお店はほとんど無いですね。

=====

前段の「日中線」というのは、ローカル線の中のローカル線で、廃線直前まで、機関車に牽かれた旧型客車だけが一日数往復のみ走っていた。私も一度だけ乗ったことがあり、何ともなつかしい。会津若松までの夜行列車があったのも驚きだ。後段の「ステーキハウスあかべこ」の情報も面白い。お店が変わって、結局廃業したこともわかり、感謝したい。



さて、会津から持ち帰った「あかべこ絵付」のセットには、絵の具もついていて、白と黒だけのアクリル絵の具だが、絵の具皿(お醤油の容器)までたくさんついていて、おかげで、筆と新聞紙意外は何も準備がいらず、大変助かった。



八王子の「あかべこ」も懐かしいですね。私も子供の頃、何度か連れて行ってもらったと思いますが、実

おまけに各クラス用の「完成みほん」までついていて、至れり尽くせりのサービスだと思った。